

オーロラブラック

オーロラブラックは、着色良好で栽培しやすい品種の育成を目指して、岡山県立農業試験場（現 岡山県農林水産総合センター農業研究所）が、赤紫色の大粒ぶどう「オーロラレッド」の自然交雑実を育成し、平成 15(2003)年に品種登録された県オリジナル品種であり、大粒、種無し、高糖度で食べやすいのが特徴です。



1 主要特性

- ・果粒は円形で大きく、肉質が締まり、わずかに香気を有し食味が良い。
- ・果皮色は紫黒色でピオーネより着色しやすい。果粉は多い。
- ・果皮は厚く、皮離れはやや悪いが、皮ごと食べられる。
- ・脱粒しにくく、収穫後の日持ちが良いため、輸出等長距離輸送が可能である。

2 データ

(1) 生産状況（令和 2(2020)年産）

栽培面積：86 ha（農林水産省特産果樹生産動態等調査）

(2) 県内の主産地

岡山市、倉敷市、井原市等

3 出荷時期

8月～11月（一部貯蔵品が12月に出荷されている）